

# TTC 提案山行実施記録表

2016.8.27 KS

山行名	北ア薬師岳・黒部五郎岳 (Aコース) [2926m/2839.6m 富山県・岐阜県・長野県]															
実施日	2016年8月12日夜(金)～17日(水) 夜行4泊5日										交通アクセス：公共					
参加人員	A・B一緒8/12～16参加者6名(男3名、女3名)、Aコース8/16～17 2名、レベル：★★★★															
パーティスタッフ	CL:(CL), SL:, 会計:, 救護:(SL), 写真: ( )内はAコースの役割										スタッフ名削除					
参加メンバー	Aコース：2名 Bコース：4名										参加者氏名削除					
費用 個人払い 小田急¥1,311	[内訳] 高速バス：新宿～富山駅前¥8,200、バス：富山駅前～折立¥3,500、山小屋宿泊料金：太郎平小屋¥9,200×2、黒部五郎小舎¥9,500、鏡平山荘¥9,500、ひらゆの森入浴料¥500、バス：新穂高温泉～平湯温泉¥890、バス：平湯温泉～松本¥2,370、JR特急：松本～町田¥3,670+2,160/小計@58,690×2=117,380、通信費¥1,000、ガス代¥200、 <b>合計¥118,580-</b> 集金 59,300×2=¥118,600 -、カンパ金：20円 その他交通費：小田急線(本厚木～新宿¥494+570特急、町田～本厚木¥247)小田急小計¥1,311 -															
所要時間	-	歩行時間					休憩時間					行動時間				
	日程	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17
	ガイト ブック	5:00	6:40	6:25	6:15	3:45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計画	5:10	7:00	6:50	6:45	4:00	1:20	1:50	1:30	1:40	0:40	6:30	8:50	8:20	8:25	4:40
	実行	4:20	6:20	6:50	6:00	3:25	0:55	1:45	1:40	2:15	0:20	5:15	8:05	8:30	8:15	3:45

## 実行コースタイム記録

### ◆8/12(金)夜～13(土) A・B一緒 天候：晴れ時々曇り

小田急 徒歩 高速バス 朝食 バス 1:45 昼食 1:20  
 本厚木====新宿====バスタ新宿====富山駅前====折立====1871====  
 21:01 21:49 22:10 集合/10:30 出発 5:30/6:30 8:30～9:00 休憩 10 10:55～11:20 休憩 5  
 1:15  
 五光岩ベンチ(手前)-----太郎平小屋  
 12:45～55 休憩 5 14:15

### ◆8/14(日) A・B一緒 天候：晴

0:55 1:05 1:00 0:30 0:30 0:45  
 太郎平小屋-----薬師平-----薬師岳山荘-----薬師岳-----北薬師岳の途中-----薬師岳-----  
 5:45 6:40 7:45～55 8:55～9:15 9:45～55 10:25～45  
 昼食 0:45 0:50  
 薬師岳山荘-----薬師平-----太郎平小屋  
 11:30～12:10 12:55～13:00 13:50

### ◆8/15(月) A・B一緒 天候：曇りのち風雨(夕方晴れ)

2:00 0:30 0:30 1:40 0:15 0:10  
 太郎平小屋-----北ノ俣岳-----赤木岳-----中俣乗越-----山頂分岐-----黒部五郎岳-----  
 5:45 (5) 7:50～8:00 (20) 8:50～55 9:25～35 (5) 11:20～25 11:40～45  
 昼食 1:45  
 山頂分岐-----黒部五郎小舎  
 11:55～12:15 (15) 14:15

### ◆8/16(火) 双六小屋まで A・B一緒、その後はAのみ 天候：晴れのち曇り

1:30 0:40 0:30 0:55 1:00 昼食 1:00 0:25  
 黒部五郎小舎-----黒部乗越-----三俣蓮華岳-----丸山-----双六岳-----双六小屋-----弓折乗越-----鏡平山荘  
 5:30 (5) 7:05～10 7:50～8:10 8:40～55 (5) 9:55～10:05 11:05～12:10 13:10～20 13:45

### ◆8/17(水) Aのみ 天候：小雨

0:40 0:45 0:55 1:05 バス  
 鏡平山荘-----シシウドガ原-----水場-----わさび平小屋-----新穂高温泉====  
 5:25 6:05～10 6:55～7:00 7:55～8:05 9:10～9:16  
 ひらゆの森(入浴・昼食) バス JRあずさ52号  
 =====平湯温泉=====松本=====八王子=====町田=====本厚木  
 9:55～12:10 13:45/13:56 16:30/16:37 17:03/17:11 17:27

## コースの概要、特記事項、反省事項等

台風5号が北上し、更に6号が日本列島に向かっていたので、予報よりも少しでも東側のコースを通ることを願っていました。

出発の前日OKさんからロマンスカーで行きませんかと声が掛かり、全員が賛同しくつろぎながら新宿へ向かいました。

バスタ新宿は初めてでしたが、新宿南口の目の前のビルで4Fは多くの客で混雑していて、またバスが次々と入り、賑わっていました。富山行のバスは3列シートです。走行途中のSAでの停車に気づかずに熟睡していた人もいますが、よく眠れなかった人の方が多かったようです。

高速バスが富山手前で滑川に停車した時に、折立に行くバスはもしかしたらここを通るのではないかと心配になりました。もし、そうであれば、ここで待てば1本早いバスに乗れたのでは……？ 実際にバスに乗ってみて勘違いだったことが分かりました。富山駅で、バス乗換時間を利用して朝食を摂りました。

#### 8/13(土)A・Bコース一緒 折立～太郎平小屋

折立で登山届を出そうポストを探していたら、管理事務所に張り紙があり、太郎平小屋へ提出するようにとのことでした。日焼け止めを塗りOKさんの号令でストレッチを行い出発です。最初はゆっくり歩くように心がけていましたが、後から記録を見るとかなりハイスピードになっていました。前半かなりの急登が連続しておりSRさんの脚が攣りそうになり、水分、塩分、アミノ酸の補給や荷物の分散を行い、しばらくすると効果が現れ30分程度で回復しました。暑いのでこまめに水分補給できるように30分毎に立ち休憩や休憩を取ることにしました。1871mのピークは展望が良く眼下には有峰湖が見え、目指す方向にはなだらかな稜線が見えています。左手の薬師岳方向はガスが掛かっていて全く見えない状況です。前半に比べ後半は比較的なだらかな登りが稜線まで続いています。五光岩ベンチに来た時、薬師岳方向のガスが突然晴れて薬師岳の沢筋が真白になっているのが分かりました。アイゼンを持って来ていないが大丈夫だろうか、ふと心配になりました。しばらく進むと全貌が見えるようになり、真白いのは雪渓ではなく岩肌であることが分かりました。ホット胸をなでおろしました。

太郎平小屋には予定よりも1時間早く着きました。寝床は6名で1部屋貸切でゆっくりくつろげました。荷物の整理が終わってから、外で薬師岳を望みながら懇親会を行いました。夕食はトンカツと色々なおかずが約10種類あり、美味しかったです。その後の山小屋でもお美味しくいただきました。

#### 8/14(日)A・Bコース一緒 太郎平小屋～薬師岳～北薬師岳(途中迄)のピストン

今日は快晴で遠くまで見渡すことができました。不要な荷物は部屋へ預け、軽めのザックで出発です。薬師峠のキャンプ場を通り過ぎ、また登ると薬師平に着きました。更に登ると薬師岳山荘に着きました。此の小屋は宿泊者以外トイレの使用不可になっていました。この先はザレ場でかなり急です。1時間登山頂に到着です。すぐ近くに水晶・三俣蓮華・黒部五郎そしてその向こうに槍・穂高、反対側に剣・立山が見えています。

景色を堪能した後、北薬師岳へ出発です。北薬師岳までは行き30分、帰り40分で計画していましたが、痩せ尾根で思ったより時間が掛かります。20分の歩行後に北薬師岳から対向者が来たので、どの位掛かったのかを聞いたところ40分とのことでした。まだ半分程度なので北薬師岳まで往復すると2時間弱掛かりそうです。薬師岳山頂にザックを置いて水だけを持っていた人がいたので引き返すことにしました。時間的には余裕があり、全員ザックを背負っていれば問題なく行けるようです。北薬師岳から来た人に金作谷カールの写真を見せてもらいましたが、左側に広がる白く形の良いカールが写っていました。北薬師岳からのカールが見られないのはちょっと残念でした。

薬師岳下山開始後に高校生の山岳部とすれ違いました。女子部員も数名居り総勢30名が薬師峠キャンプ場でテント泊とのことでした。若い人達と挨拶を交わすと何となくうれしくなります。

薬師岳山荘に来るとトイレに行きたくなります。しかしトイレは宿泊者以外使用不可になっていました。理由は良くわかりません。我慢しながら山小屋に辿り着いた人は使用できないとなると小屋の周辺を汚してしまうのではないかと、逆に心配になりました。

予定より早く山小屋に戻ることが出来ました。荷物整理後、外はガスっていたので屋根付きの所で懇親会を行いました。

#### 8/15(月)A・Bコース一緒 太郎平小屋～黒部五郎岳～黒部五郎小舎

出発時は曇っており、ガスも掛かっていました。稜線歩きで最初池塘があり、その後はチングルマの群生が何か所も現れました。もう咲き終わりヒゲ状態ですが、シーズン中に訪れればすごい群生が見られそうです。北ノ俣岳を過ぎ休憩している時に雨が降り出しカップを着ることにしました。

コルを2回過ぎて黒部五郎岳への最後の登りです。森林限界を越えた稜線で風雨が強まる中を、途中立ち休憩をしながら急登を1時間進みました。山頂直下の分岐点に到着したら風雨も弱まりほっと一息。もしもあと30分も強風雨が続いていたらアクシデントが発生していたかもしれません。

ザックをデポし山頂へ向かいました。岩場を登り 10 数分で山頂に到着しました。生憎、まわりの景色は見えないが集合写真を撮り山頂をあとにしました。

デポした付近の岩場の陰で風を避けて立ち昼食タイム。雨も小降りになった為、冷えた身体が温まるよう 1 枚着込みました。

コンパスで黒部五郎小舎の方向をセットし、カールへ下山開始しました。ガイドブックには濃霧時は稜線ルートが良いと書いてあったが、MYさんからはカールルートが良いと聞いていました。念のため太郎平小屋の管理人に確認したところ、やはり表示もありカールルートの方がよいとのことでした。但し、このコースでは滑落事故が今シーズン発生し 1 名亡くなられているとのことでした。私たちも慎重にカールを下りはじめました。カールの斜面で突然ガスが晴れカールの全貌が見えてきました。眼下には巨岩が点在しているカールの底辺部があり、前方には大きな黒部五郎の山容が有り、更に右上上には雲に隠れた山頂直下が見えました。何とも雄大な景色なのか、と感動しました。しばらく進むと遠くのコルに黒部五郎小舎が見えてきました。まだだいぶ先です。そこから小舎まで 1 時間半掛かりました。

黒部五郎小舎での寝床は 8 人部屋で他に 2 人が来る予定となっていました。結局現れず私たちの貸切となりました。濡れたウエアーを乾燥室に吊るし、外へ出るとお日様がまぶしく雲は全く無い状態でした。目の前に黒部五郎岳、右手に薬師岳、左手の稜線の先端にひと際高い笠ヶ岳が見えました。山々を見ながら懇親会を行いました。

### 8/16(火)A・Bコース一緒：黒部五郎小舎～双六小屋、 Aコースのみ：双六小屋～鏡平山荘まで

今日 6 名一緒に行動するのは双六小屋迄です。天気も良く日差しも強いです。出発直後、樹林帯の中をいきなりの急登です。三俣蓮華岳に近づくと植生がハイマツに変わりました。遠くの山々が良く見えます。三俣蓮華岳で展望を楽しみました。

丸山山頂付近で 3 羽の雷鳥に出会いました。最初登山道で親子 2 羽の雷鳥に会い、近づくと左側の草原に入り草の実等を鳴きながらついばんでいました。更に一羽、子供の雷鳥が現れ近くで実をついばんでいます。SRさんはハイマツ帯を見る度に今年はまだ雷鳥に会っていないので是非会いたいと何度も言っていたのですが、その気持ちがようやく雷鳥に届いたようです。

今回は、時期は遅いですが沢山の花を見ることができました。また岩ひばりやホシガラス、そして大きな熊のフンも見ました。豊かな自然を感じることができました。

昼前に双六小屋に到着しました。山小屋のうどん等を食べコーヒーを沸かしゆっくり休憩しました。我々Aコースの 2 名はBコースのメンバーに見送られながら、鏡平山荘へ向かいました。尾根の左側からガスが駆け上がり、いつ雨が降ってもおかしくない状態でしたが、鏡平山荘まで降られることなく着きました。生憎、槍ヶ岳や穂高は見えませんでした。夕食までの時間を二人でささやかな懇親会をおこないました。

### 8/17(水) 鏡平山荘～新穂高温泉

出発間際に霧雨となり、カップを着て出発しました。小雨でも登って来る人が多く、流石百名山です。途中のわさび平小屋で冷えたトマトをかじり、予定より早く新穂高温泉に到着しました。平湯までバスで移動し、ひらゆの森で汗を流しさっぱりした後併設のレストランで食事をしました。ほうば味噌定食を食べましたが、登山者にはややボリューム不足でした。この日帰り温泉は着替えを送ることが出来たのでここを選びました。但し、正式にはツアー客以外の個人客の荷物は預かっていないが、何とかお願いして預かっていただきました。

予定より早いバスや電車に乗ることができ 17 時 30 分ごろに本厚木に到着しました。

注意点としては稜線で風雨が強い場合はウエアーを着たりすることが実質できないことが分かりました。

今回は日程的に余裕のあるのんびり山行となりました。心配した台風も直接の影響はありませんでした。山行で特に印象的だったのは薬師岳山頂からの大展望と黒部五郎岳の雄大で美しいカールでした。メンバーのご協力によりほぼ予定通り山行を終えることができました。ありがとうございました。

—以上—

《次ページに続く》

# TTC 提案山行実施記録表

2016.8.23 HM

山行名	北ア薬師岳・黒部五郎岳・笠ヶ岳 (Bコース) [2926m/2839.6m/2897.5m 富山県・岐阜県・長野県]									
実施日	2016年8月12日夜(金)～18日(木) 夜行5泊6日 交通アクセス: 公共 8/12～16はAコース記録表参照									
参加人員	Bコースのみ8/16～18 4名、レベル: ★★★☆ A・B一緒はAコース記録表参照									
パーティスタッフ	CL:、SL/写真:、会計:、救護:					スタッフ名削除				
参加メンバー	Bコース: 男性1名/女性3名					参加者氏名削除				
費用 個人払い 小田急 JR	[[内訳] 高速バス: 新宿～富山駅前(¥8,200×4人=¥32,800)、バス: 富山駅前～折立(¥3,500×4人=¥14,000) 帰路タクシー: 新穂高温泉～平湯の森(温泉)～松本まで¥22,540、JR松本～八王子: ¥2,160(特急券)×4人 =¥8,640、太郎平小屋: ¥9,200×2泊×4人=¥73,600、黒部五郎小屋: ¥9,500×4人=38,000、双六小屋: ¥9,500 ×4人=38,000、笠ヶ岳山荘: ¥9,800×4人=39,200、入浴料: ¥500×4人=¥2,000、通信費: ¥1,000、ガス代: ¥200、 コピー代: ¥300 <b>合計¥270,280</b> <b>集金: ¥67,600×4人=¥270,400、カンパ金: 120円</b> その他交通費: 本厚木～新宿: ¥494+570(特急券)、JR松本～八王子～厚木: ¥3,672(乗車券、ICカード支払)、 厚木～本厚木: ¥124、 <b>個人払い乗車券: ¥4,860</b>									
所要時間	-	歩行時間			休憩時間			行動時間		
	日程	8/16	8/17	8/18	8/16	8/17	8/18	8/16	8/17	8/18
	ガイドブック	4:25	5:40	6:05	-	-	-	-	-	-
	計画	4:55	6:10	6:15	0:50	2:10	1:40	5:45	8:20	7:55
	実行	4:35	6:36	5:55	1:00	2:01	1:27	5:35	8:37	7:22
実行コースタイム記録										
◆8/16(火) 双六小屋までA・B一緒、天候: 晴れのち曇り										
1:30 0:40 0:30 0:55 1:00 黒部五郎小屋——黒部乗越——三俣蓮華岳——丸山——双六岳——双六小屋 5:30 (5) 7:05～10 7:50～8:10 8:40～55 (5) 9:55～10:05 11:05										
◆8/17(水) Bのみ 天候: 小雨										
1:18 0:30 1:42 1:13 1:20 昼食 0:18 双六小屋——弓折乗越——大ノマ乗越——秩父平——笠ヶ岳山荘——笠ヶ岳山頂 5:53 (10) 7:21～27 7:57～8:05 (10) 9:57～10:00(10) 11:23-30(10) 13:00-13:47 14:05-14:15 0:15 ——笠ヶ岳山荘 14:30										
◆8/18(木) Bのみ 天候: 小雨										
1:13 50 2:57 0:55 タクシー(0:27) タクシー(1:25) 笠ヶ岳山荘——笠ヶ岳山荘——杓子平——笠ヶ岳新道入口——新穂高温泉==ひらゆの森(入浴)== 4:48 (10) 6:11-35(10) 7:35 (昼食等 35) 11:07-11:15 12:10-13:08 13:35-14:15 あずさ26号 JR 横浜線 小田急線 松本 ===== 八王子 ===== 厚木 ===== 本厚木 15:40着 15:47発-16:01着 18:14発 19:12発 19:14着										
コースの概要、特記事項、反省事項等										
双六小屋で昼食後、Kさん、Sさんを見送り、夕食までの時間をのんびり過ごした。夕食の温かい天ぷらがありがたく、おいしくいただいた。 17日は空模様ははっきりせず、合羽を着用して少し早めに出発した。地形図を用意し、さらに詳しい書き込みを加えて山行準備万端のSL、Oさんに先頭を歩いていただくことにした。弓折乗越までの上り下りの途中、花見平で雷鳥の親子を見つけ、その姿にしばし見入った。また、さまざまな花を見つけては名前を言い合ったが、そのうち、雨がかなり降ってきてそんな余裕もなくなってしまった。しかし、笠ヶ岳山荘までの登山道では雷鳥が数十メートルの間、まるで道案内をしてくれるかのように先を歩いてくれ、感激した。オスの雷鳥にも出会い、目の上が赤く染まっていることを初めて知った。山荘までの道で合わせて4回も雷鳥に出会うことができたので、その幸運が天気のおそろしさを払拭してくれた。山荘までの登山道は厳しい上り下りが続き、霧の中に浮かび上がる笠ヶ岳に似た形の山を、笠ヶ岳では?と期待し、そのたびに裏切られることの繰り返しであった。山荘に近づくと、岩場が続き、岩に「あと少し、ガンバレ」との書き込みがあってまた期待したが、それにも裏切られた感があった。ガイドブックを参考にしたところ、笠ヶ岳山荘から山荘まで20分ほど余計にかかっていることが分かった。かなりいいペースで歩いたにもかかわらず、往復とも20分は余計にかかっていること、ほかのポイントではあまり違いがなかったことを考えると、ガイドブックの時間に誤差があり、その分いつまでも山荘に着けないという気持ちにな										

ったのだと思う。それでも、やっと山荘に着き、簡単に食事をしてから雨の中頂上を目指した。もちろん眺望はなく、早々に山荘まで戻って濡れた衣類を乾燥室に干したり、荷物の整理をしたりした。それが、夕方になると次第に霧が晴れてきて周囲の山々が見えるようになった。山荘の目の前には槍ヶ岳、大キレット、穂高連峰を、左手には14日に登った薬師岳、15日に登った黒部五郎岳、双六岳、さらに奥には立山、剣岳、野口五郎岳などを望むことができた。また、ブロッケン現象という初めての体験もできて大喜びした。様々な雲の様子と雲間の日没も素晴らしく、小屋の従業員の人たちもカメラ片手に慌てて飛び出してくるほどだった。夕食後も部屋から山々のシルエットに見とれたり、小屋の外に設置してある望遠鏡で、遠くに光る小屋の明かりを眺めたりした。小屋までの長い道のりがほとんど霧の中だったので、山々がくっきりと見えることの幸せ感に浸ることができた。

18日、長い山行もいよいよ下山の日を迎えた。予定より15分ほど早い4:45にヘッドランプを付けながら下山を開始したが、すぐに明るくなりヘッドランプはしまつて霧の中を歩いた。笠新道分岐でお弁当を少し食べ、笠新道入り口までの長い道のりに備えた。新道は岩場の急な下りが延々と4時間近く続き、覚悟していたものの、足の裏が痛くなるほどだった。大勢の人が登ってきたが、皆疲れ切った様子なのを見て、新道を登らずに済んで本当によかったと心から思った。去年は、鏡平から歩いて通り過ぎた新道入り口にやっとたどり着き、ほっとして新穂高温泉までの蒲田川左俣林道歩きにかかった。林道歩きを終え、新穂高温泉でタクシーを待つ間に土砂降りになり、それが下山中でなくてよかったと胸をなでおろした。タクシーで温泉に寄り、そのまま松本まで向かったので、予定より1時間ほど早い列車に乗ることができ、本厚木に戻ることができた。

今回は長い山行で体力的に心配があったが、無事終わることができたことに本当に感謝している。